

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和4年第19週（令和4年5月9日～令和4年5月15日）

福岡県感染症情報センター

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	17	262	105	4,632
腸管出血性大腸菌感染症	1	30	9	285
レジオネラ症	1	10	21	359
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	23	15	482
侵襲性肺炎球菌感染症	1	25	16	404
梅毒	7	130	72	3,339
百日咳	1	7	4	190

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

■ 定点把握疾患報告数

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	0	0.00	-	11	0.00
RSウイルス感染症	9	0.08	0.53	303	0.10
咽頭結膜熱	38	0.32	1.58	359	0.11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	89	0.74	1.31	564	0.18
感染性胃腸炎	649	5.41	1.44	8,297	2.65
水痘	27	0.23	2.25	222	0.07
手足口病	12	0.10	2.00	336	0.11
伝染性紅斑	1	0.01	1.00	44	0.01
突発性発しん	63	0.53	1.07	969	0.31
ヘルパンギーナ	3	0.03	1.00	47	0.02
流行性耳下腺炎	4	0.03	2.00	74	0.02
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	-	-
流行性角結膜炎	4	0.15	1.00	116	0.17
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	5	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	8	0.02
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	5	0.01
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	1	0.00

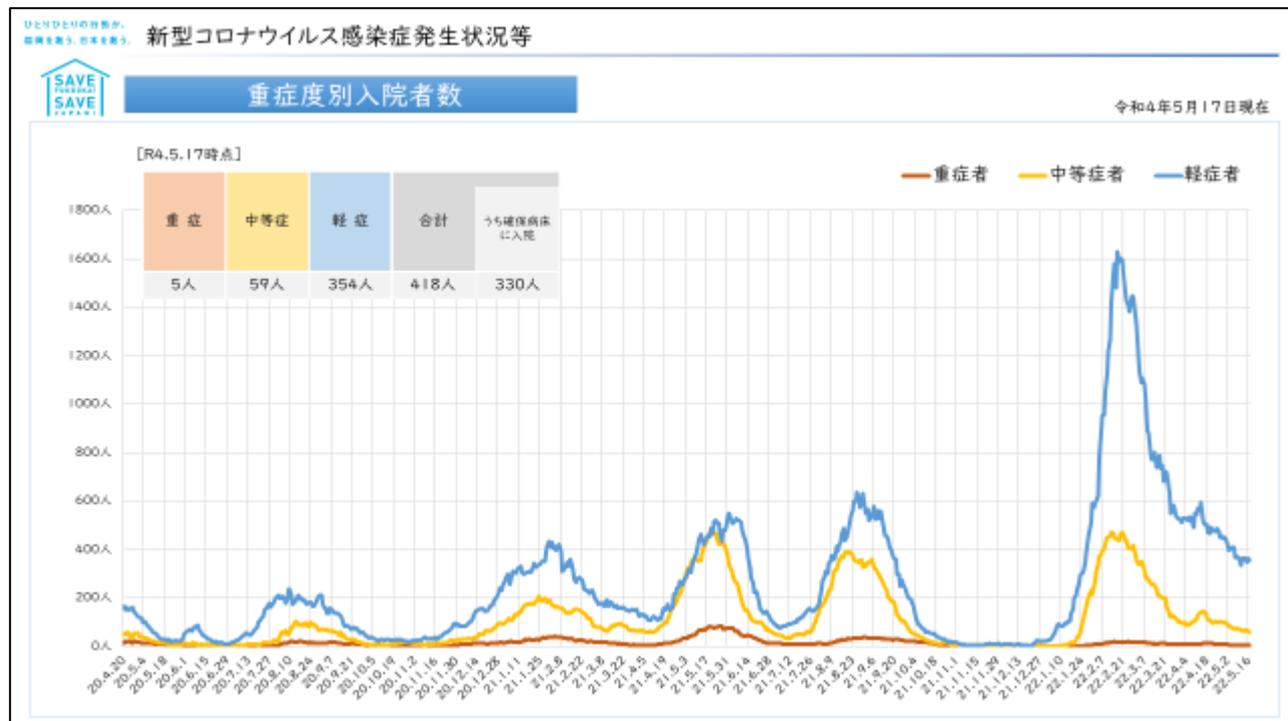
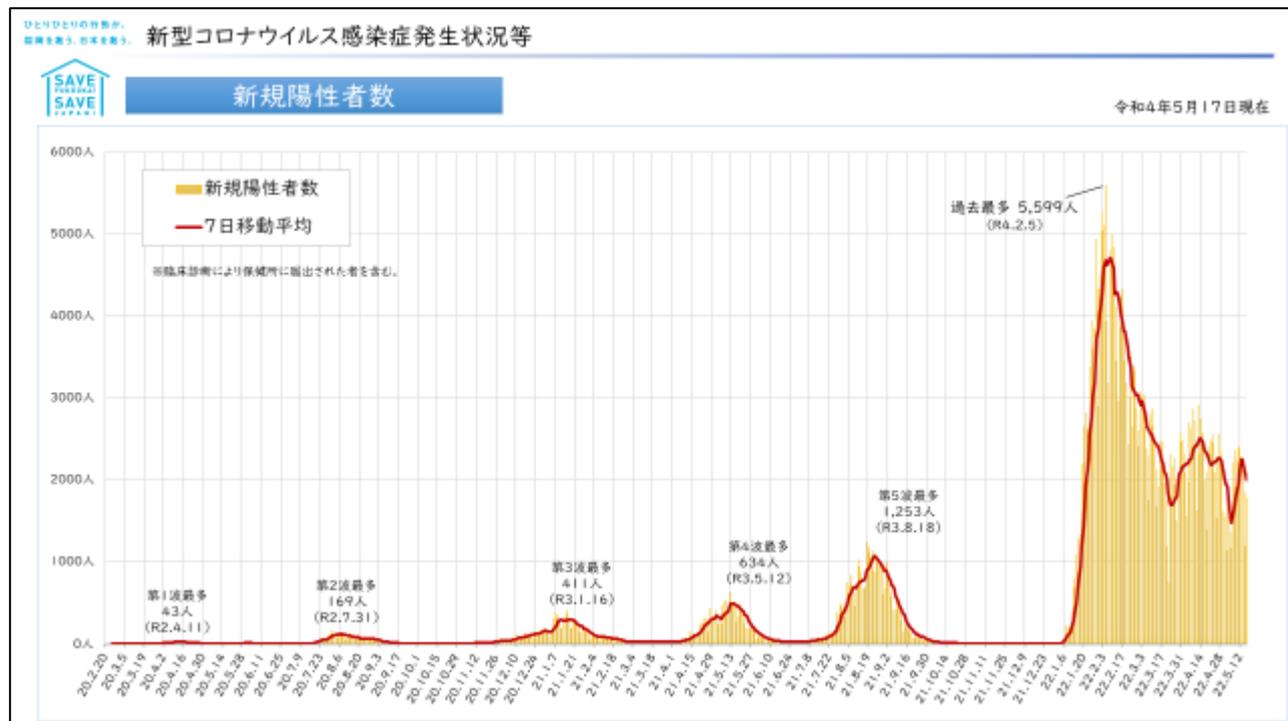
: 警報レベル

: 注意報レベル

■ コメント

- ・今週は、梅毒の報告が7件ありました。第19週までの累積報告数は130件で、昨年の同時期（101件・速報値）に比べ多い状況です。梅毒は、感染すると全身に様々な症状が出ますが、感染早期の薬物治療で完治が可能です。検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがありますので、早めに検査・治療を受けましょう。
- ・福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihef.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



- ・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>